

生徒会長からのメッセージ

おはようございます。生徒会会長、梨田愛斗です。

本日より新年度がスタートしました。一つ学年の上がった新しい教室で、これから始まる新しい学校生活に心躍らせている人も多いのではないのでしょうか。しかし、ご承知の通り、昨年12月頃から中国の武漢市にて最初の新型コロナウイルスの症例が確認されて以降、今や世界保健機関（WHO）がパンデミック（世界的大流行）を宣言するほどの世界的危機に直面しています。日本も同様であり、私達が住むここ熊本も決して例外ではない状況となっています。

私は、早く「日常」を取り戻したいと心から願っています。これまで通り学校へ登校し、これまで通り授業や行事をおこない、放課後には部活がしたいです。そのような安心で安全な「日常」と「社会」を取り戻すために、私達高校生ができること何もないのでしょうか？私はそうではないと信じています。高校生だから何もできないという考え方をしていたら、いつまでたっても私たちの日常は戻ってこないと思います。だからこそ、私は生徒会長という立場で、私達の日常を一日でも早く取り戻すべく、行動を起こすことを決意し、こうやって皆さんにお話しさせていただいています。

私達高校生がまずすべきことは「感染に関する危機感」をもつことです。感染を未然に防ぐために社会全体で不要不急の外出や休校といった措置が取られています。しかし、99人が気を付けて行動していたとしても、一人の安全を欠いた行動で周囲の全てを危険にさらしてしまいます。私達は若いので感染しないと過信をしていたり、体力もあるので重症化しにくいから大丈夫といった甘い認識を持っているのではないのでしょうか。社会は私達だけではないことに気付くべきです。高齢者や基礎疾患を持っている方、小さな子どもたちなど、沢山のの人々と共に社会で生活しているのです。私は自分の大事な家族や仲間を失いたくはありません。若者の行動が感染を広げているという報道も出ています。休校が長く続いている私達の行動はいかがでしょうか。その軽率な行動が誰かの大事な人の命を危険にさらす事につながっていると気づいているのでしょうか。「命を学ぶ」熊本農業高校生だからこそ、命を守る行動を他の高校生へ示す責任があると私は思います。

次に、学校や先生方へお願いです。一日一日状況が変わっていく中で、私達の安心安全と確保しつつ、どうやって学校を再開させていこうかと日々奮闘されておられることと思います。大変感謝しています。ただ、私達生徒の中には、多くの不安や心配を抱えている生徒がいることを忘れないでください。交通機関を使うことをためらっている生徒がいることを知っておいてください。終わりが見えない状況ではありますが、私達生徒もこの休校期間中にできることを精一杯頑張っていきますので、学校再開に向けて先生方のお力添えをどうぞよろしくお願い致します。

最後に私達生徒は、熊本地震という災害を経験し、協力することで困難を乗り越えることを学んでいます。みんなで共に力を合わせることで今回の困難も乗り越えることができると信じています。一日も早くこの感染症が収まり、全世界に「日常」が戻ることを願い、私からのメッセージとします。